

平成26年度 文化人材バンク
～あつ晴れ！おokayama子どもみらい塾～
アンケート結果

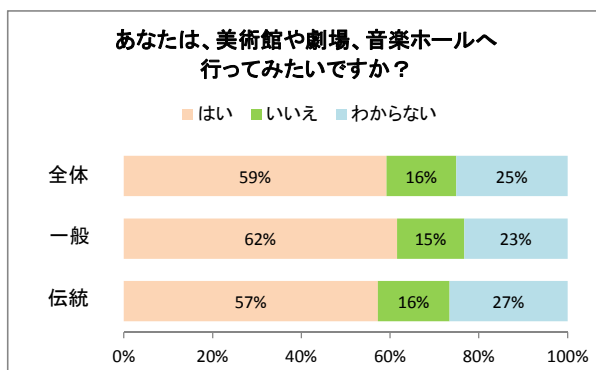
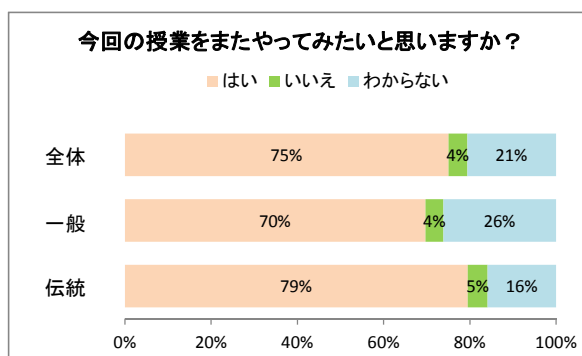
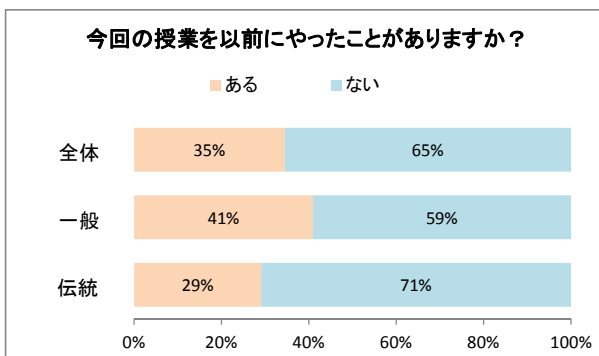
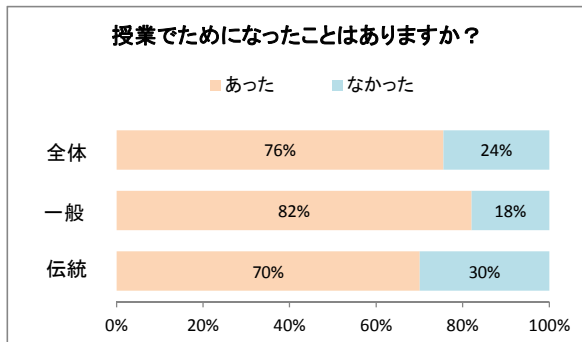
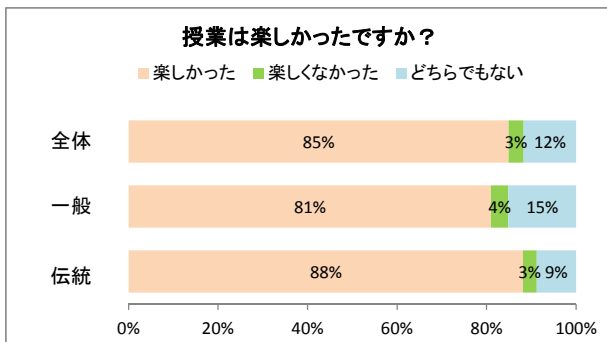
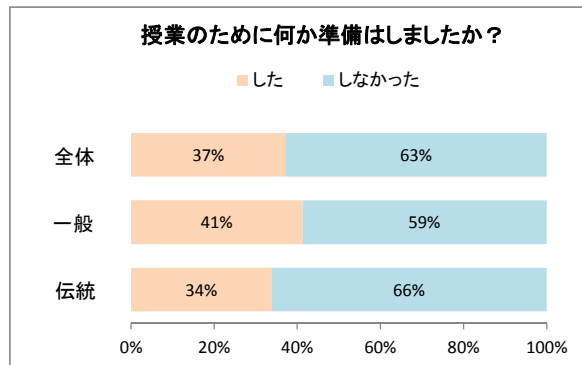
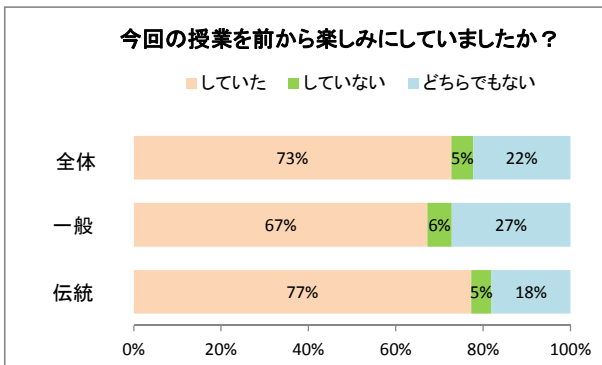
平成27年3月

岡山県・公益社団法人岡山県文化連盟

「文化人材バンク～あつ晴れ！おかやま子どもみらい塾」事業は、子どもたちが文化に親しみ文化への関心をもつきっかけづくりとするための事業で、岡山県からの委託と公益財団法人福武教育文化振興財団からのご支援を受けながら、公益社団法人岡山県文化連盟が企画運営を行い、文化・芸術を身近に感じ体験してもらう学校出前講座を実施し、文化活動の裾野拡大と将来の地域文化の担い手育成に努めています。平成17年にスタートしたこの事業には、現在、文芸・音楽・美術・生活文化・多文化理解など、様々な分野に約380名の講師が登録しています。

平成26年度実施事業(平成26年4月～平成27年3月実施)においては、学校出前講座の伝統文化部門(箏曲・茶道・水墨画など)で、延べ14分野、延べ98校の利用が、一般芸術文化部門(合唱、合奏、現代詩など)で、延べ12分野、延べ93校の利用があり、それぞれ受講した児童・生徒、実施校の教員、派遣講師に対してアンケート調査を実施しました。アンケートの集計数は、児童・生徒6,744名(小学校3年生以上を対象とし、複数学年及びクラスでの取り組みではどこか1つの学年・クラスでアンケートを実施。特別支援学級では任意で実施)、実施校の教員191校(回収率:100%)、派遣講師271名です。

■ 学校出前講座アンケート（児童） ■



—児童感想より—

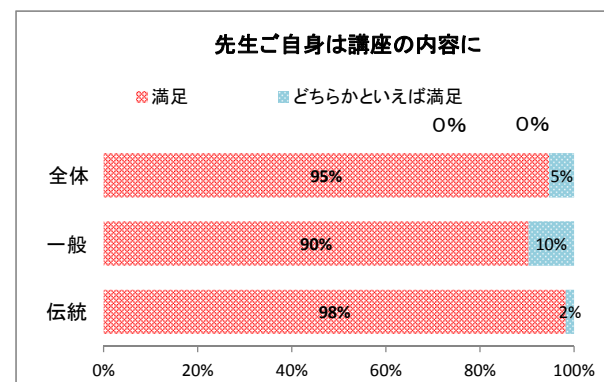
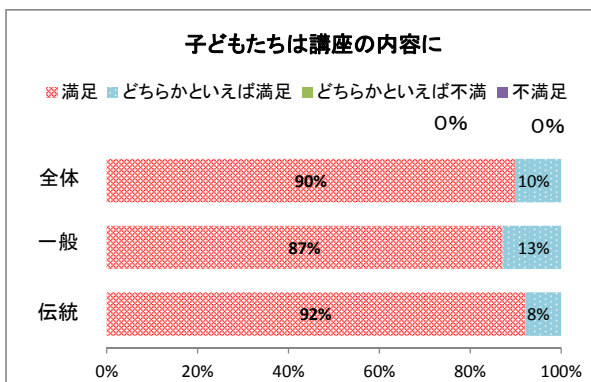
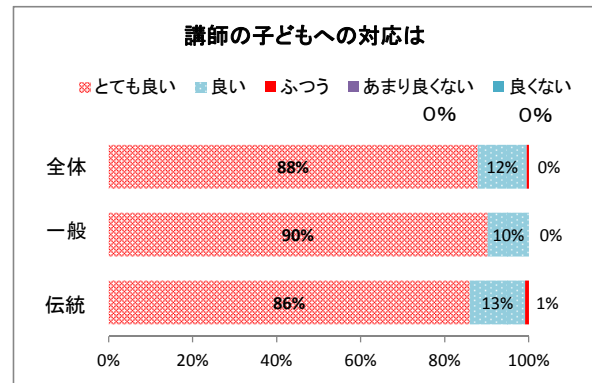
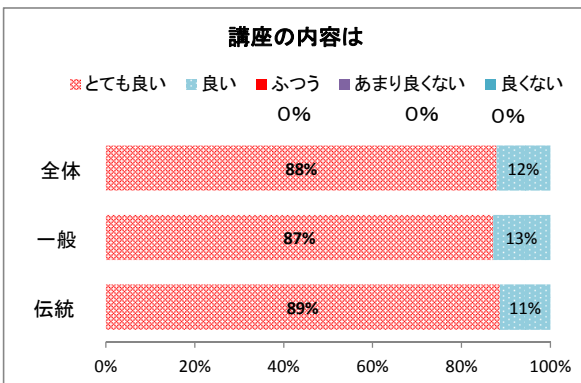
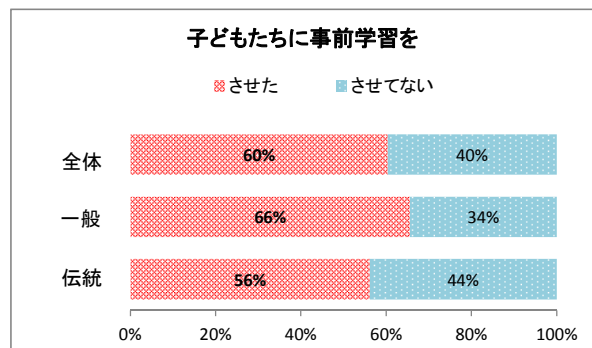
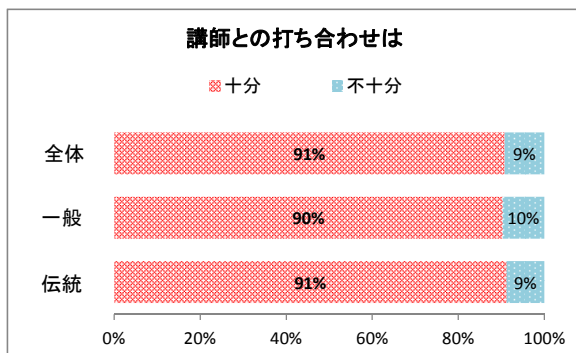
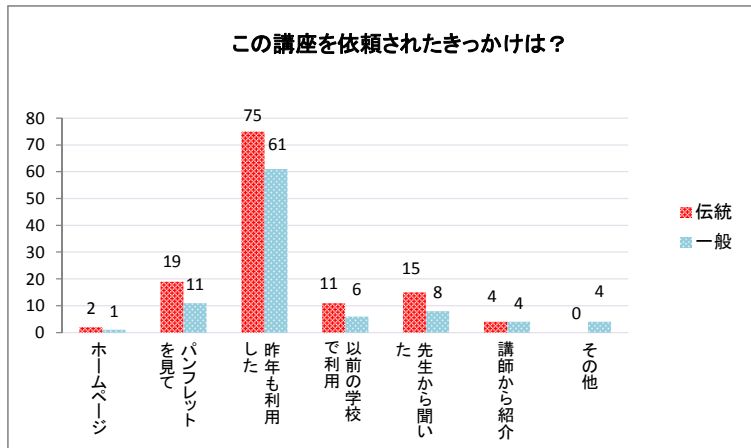
【伝統文化部門】

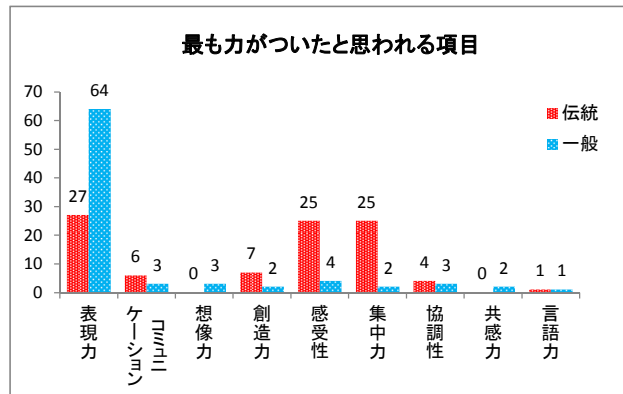
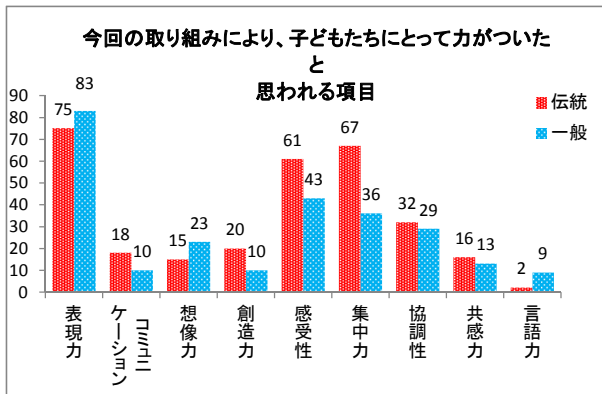
- ・今は伝統音楽をする人が減っているというので、機会があれば広めていきたい。(箏曲)
- ・長く吹くことはできなかったけど、透き通るような音色が出た。竹林にいるような心地よい音だった。(尺八)
- ・日本の楽器がどんな音を出すのかとも興味をもっていた。聴くのと体験するのでは全然違うなと思った。(箏曲・尺八)
- ・難しいこともたくさんあったけど、成功したときの嬉しさがすごく心に残った。(和太鼓)
- ・大変だけど、楽しくやれば聴いている人も楽しくなるのではないかと感じた。(和太鼓)
- ・「礼に始まり、礼に終わる」このことは、ほかのことにも通じると思った。(和太鼓)
- ・ただお茶を点ててお菓子を食べるのではなく、隣の人やお茶を点ててくれた人を思いやってみようかなと感じた。(茶道)
- ・パソコンで調べるよりももっとたくさんのお話を教えてくれたので、よく分かった。家で点てる時、家族の教えてあげたい。(茶道)
- ・相手の立場になって考えたり、礼儀作法をしっかりすることが役に立った。今後に繋げていきたい。(茶道)
- ・生け花は人の心をそのまま映す気がした。(華道)
- ・みんな同じ花なのに、生け方が違うと違う作品ができて面白いと思った。(華道)
- ・生ける花の気持ちを考えて生けることが一番心に残った。花も生きているので、顔を見せたり目立たせたり色を考えて生けると、自分で生けたものに自信がわく。(華道)
- ・筆一本で絵が描けることに驚いた。(水墨画)
- ・「失敗しても、そこからまた成功させればいい」と先生に言われたのが心に残った。(水墨画)
- ・頑張って墨の色を整えたので、きれいに立体感のある絵ができて嬉しかった。(水墨画)
- ・見たり聞いたりするより、自分でやる方が楽しかった。(狂言)
- ・昔から受け継がれている芸能を習うことができて、本当によかった。(狂言)
- ・自分の頭で想像しながら見るのが面白かった。(狂言)
- ・先生のおかげで上手に書けるようになって嬉しい。(書道)
- ・「ものを大切にすることは、命を預かるということ」という言葉が思い出に残った。(鼓)
- ・備前市の伝統に親しめ、楽しい勉強ができた。(陶芸)
- ・踊りはゆっくり動かないといけないうし、お辞儀も丁寧にしないうしといけないうから大変だけど、動きの一つひとつに気をつけてやってみると、だんだん出来るようになったことが嬉しい。(日本舞踊)
- ・俳句は季節を感じられてよいと思った。(俳句)
- ・俳句の先生が「よい俳句だね」と褒めてくれたことが思い出に残っている。(俳句)

【一般文化芸術部門】

- ・お腹から声を出すと、喉で出すよりきれいな音が出るということが分かった。(合唱)
- ・色々な声の出し方や喉を痛めない声の出し方が分かってよかった。(合唱)
- ・先生の表情のつくり方や動きを真似してみると、自分の表現力が少しついたと思う。(合唱)
- ・いつか音楽の職業について、自分も子どもたちに音楽を教えてあげたい。(合唱)
- ・一つひとつ細かく教えてくれた嬉しかった。(合奏)
- ・音楽が前よりも好きになった。(合奏)
- ・出来なかったところが出来るようになったし、出来ていたところももっと上手になった。(合奏)
- ・後輩に教えてあげられることが増えた。(吹奏楽)
- ・「音が大きく出せているね」と言われるようになったから、嬉しく思った。(吹奏楽)
- ・ボディパーカッションが楽しかった。(打楽器)
- ・演奏を聞かせてもらって、それから一緒に演奏できで楽しかった。(打楽器)
- ・弓だけでなく指でもビオラを弾けることに驚いた。(器楽)
- ・絵の具で色を滲ませるのが楽しかった。(水彩画)
- ・家族に感謝の言葉や好きな言葉を書くことができて楽しかった。(絵手紙)
- ・一生懸命作ったものが相手の心に残っていてほしい。今度は絵手紙の交換をしてみたい。(絵手紙)
- ・光に合わせた写真の撮り方がよく分かった。(写真)
- ・挨拶、電話のかけ方など将来役に立つことをたくさん知ることができた。(話し方)
- ・発音の仕方など、声の届き方を楽しく教えてくれた。(話し方)
- ・詩には命のことがたくさん書いていることが分かったの、いろいろな詩を読んで、その命の部分はどこかを探したい。(現代詩)
- ・自分の気持ちを自由に表現することができた。(現代詩)
- ・一行や二行で詩がすごく変わって面白かった。(現代詩)
- ・国旗、服、文字、挨拶を分かりやすく教えてくれたのが嬉しかった。(多文化理解)
- ・もっと世界の文化について調べてみたいと思った。(多文化理解)
- ・図工の楽しさを改めて知った。(彫刻)
- ・立体コピー材などで自分の手の型を作ったのが楽しかった。(彫刻)
- ・みんなで一つのものを作ったから思い出に残った。(彫刻)

■学校出前講座アンケート（教員）■





子どもたちの具体的な様子。先生方の自由回答から。

【表現力】

- ・移動しながらせりふを言ったり、身振り手振りだけでモノや場面をイメージしたりすることで表現力を養われた。(狂言)
- ・直接的な言葉を使わずに感情を表現するという作業により表現力が高まった。(俳句)
- ・今までは「大きな声で歌うように頑張る」という程度だったが、「～な感じにしたいから～を工夫して歌う」というところまでレベルアップした。(合唱)

【コミュニケーション能力】

- ・「お先に」「どうぞ」など、茶道の礼儀作法を学ぶことで、普段でもできる声かけを身に付けることができた(茶道)
- ・挨拶をするときや話をするときなど、同じ言葉でも声の高さや強さなどを変えることで、相手に伝わる印象が全く違うことを学ぶことができた。(話し方)

【想像力】

- ・一つの言葉から様々な事象に思いを馳せ、想像力をふくらませて詩に表現することができた。(現代詩)
- ・今まで全く知らなかった国について思い描ききっかけになった。図書館行事として行ったが、その後「もっと知りたい」と関連の本を借りていく児童もいた。(多文化理解)

【創造力】

- ・4種類の植物を使って、それぞれの児童が色合いやバランスを見ながら長さを調節したり、生け方を工夫したりして自分の作品を作り上げていた。(華道)
- ・土のかたまりをお皿に成型していく工程では、自分がイメージしたものを作り上げようと試行錯誤していた。創造力を働かせて真剣に取り組むことのできた時間だったと思う。(陶芸)

【感受性】

- ・箏、尺八の実際の音色に触れることができ、和楽器の響きの美しさを十分味わうことができた。(箏曲・尺八)
- ・子どもたちは材料を実際に触り、目、肌、匂いなど五感で感じ取り組むことができた。(彫刻)

【集中力】

- ・慣れない着物に悪戦苦闘しながらも、講師の動きをよく見て集中し練習に取り組むことができた。体育科で行うダンスとは違い、日本独特の音楽やリズムにも親しみ、その良さも分かりつつある。(日本舞踊)
- ・どう音を出せば良いのか、どう強弱をつければ良いのかを具体的に教えていただいたので、みんなで音を合わせようと集中していた子どもが多かった。(合奏)

【協調性】

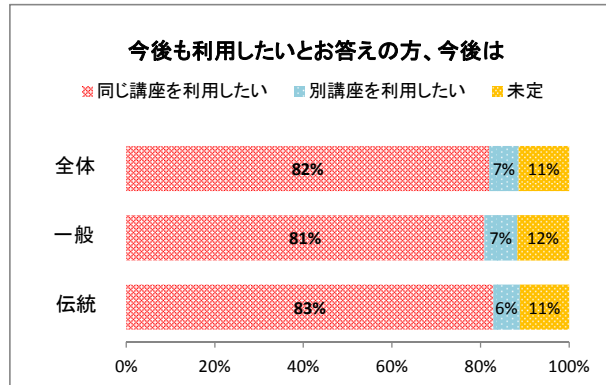
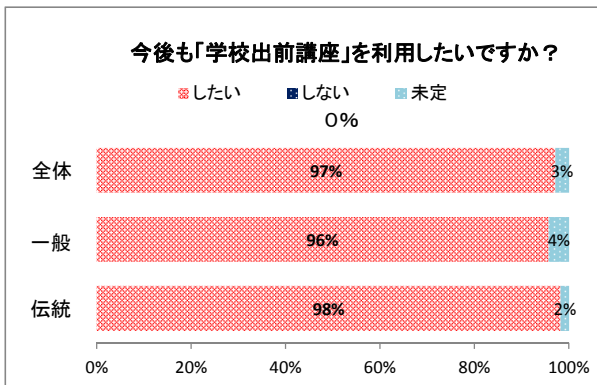
- ・みんなで音を一つにして叩くことで、心を一つにすることの大切さ、友だちに合わせることの大切さを学び、協調性が身に付いてきたように思う。(和太鼓)
- ・すべての作法を相手を気遣い、思いやる気持ちへとつながっていることを教えていただき、友だちに対する接し方を改めて考え直す機会となった。(茶道)
- ・お互いの声を聴くという力がつき、ソプラノ、アルトが協力して成り立っているということに気付くことができた。(合唱)

【共感力】

- ・他の文化を知る驚き、未知のものへの興味がわいてきて、同じ地球人としての親しさを感じるとともに多様な世界を受け入れる素地が培われた。(多文化理解)
- ・友だちの作品を鑑賞し、それぞれの良さを感じ取ることができた。(現代詩)

【言語力】

- ・狂言という古典芸能を通して、昔の言葉に親しむことができた。(狂言)
- ・言葉を大切に指導してくださったので、子どもたちの歌い方が言葉を丁寧な歌うように変わっていった。(合唱)
- ・詩を作る学習を通して、思いを言葉にして表現する活動を深めることができた。(現代詩)



—教員感想より—

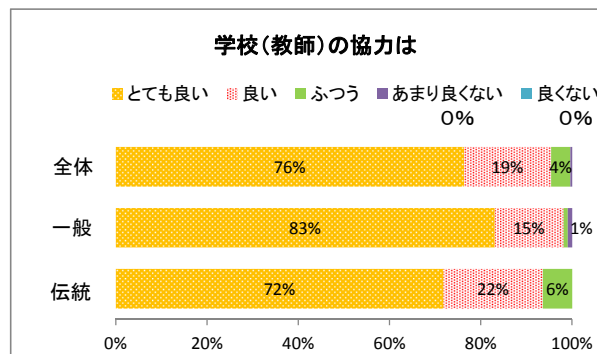
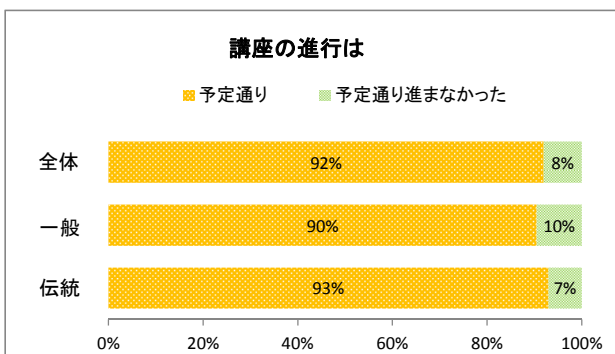
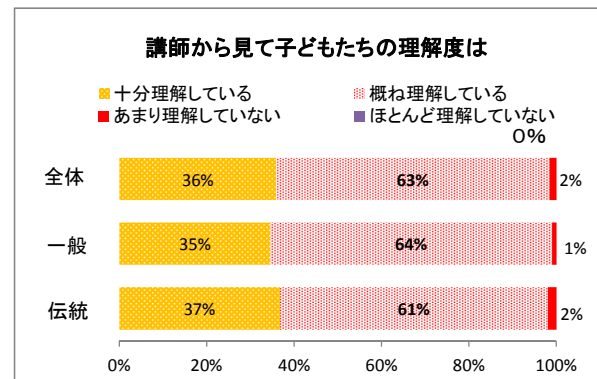
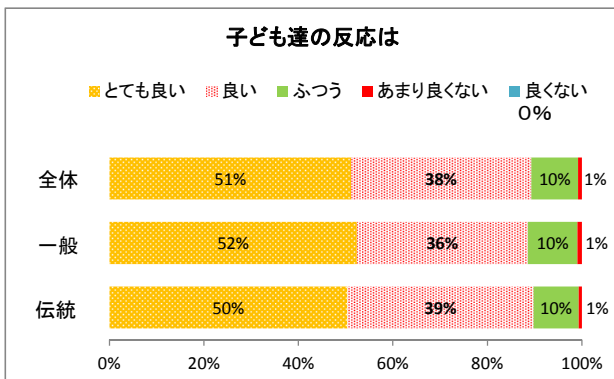
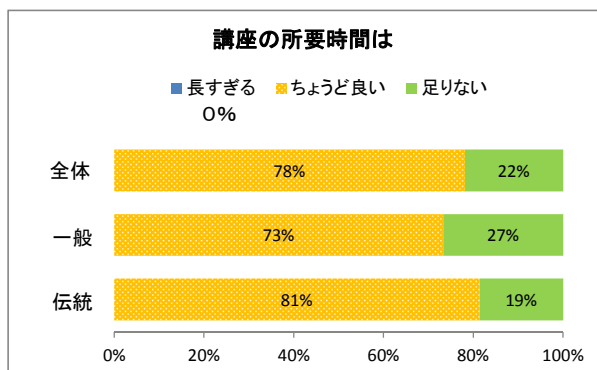
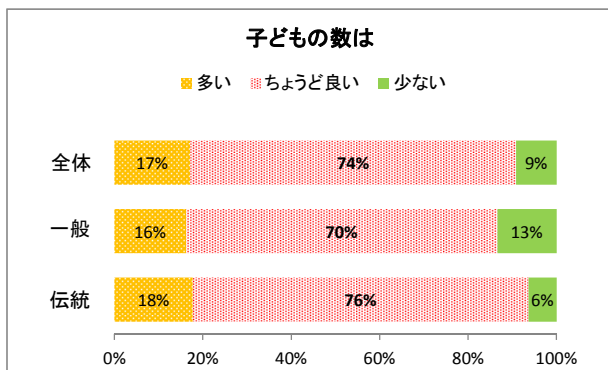
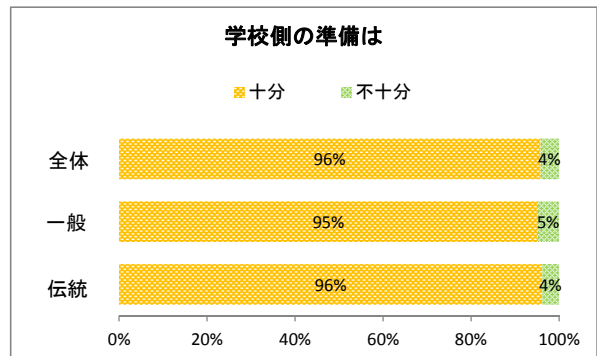
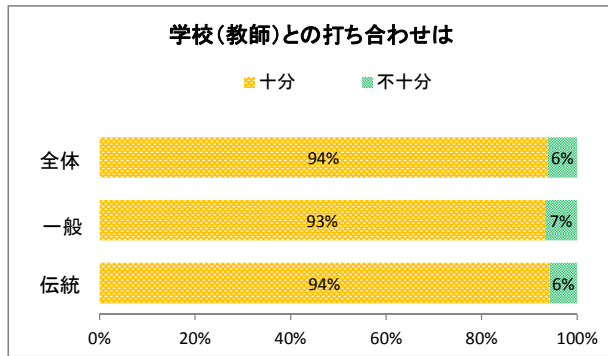
【伝統文化部門】

- ・学校には和楽器が少ないので、子どもたちが触れる機会がほとんどない。出前講座で、なかなか体験できない楽器を今後も体験できるようお願いしたい。
- ・本校は、小規模校で限られた人間関係の中で生活している。外部講師の先生方との関わりや様々な体験ができる出前講座は、児童にとって貴重な体験となっている。
- ・茶道具の名前やお茶の点て方、いただき方など、とても丁寧に分かりやすく教えていただき、子どもたちも真剣に取り組むことができた。日本の伝統文化にふれ、子どもたちが自分の所作を見つめ直すよい機会となった。
- ・日本の伝統文化にふれるよい機会にもなっている。講師の先生からは、子どもたちとふれあうことで元気をもらっているという言葉もいただいている。
- ・今後も教科書や机上では学べない体験学習を続けていけたらと思う。
- ・教師が教えられないことをこうして教えていただく機会を設けてくださり、本当にありがたい。大変有意義な時間だった。子どもたちの挨拶の仕方もう心なしか丁寧になった。
- ・和太鼓だけでなく、ものを大切に扱う心や静かに待つ、歩く心まで指導してくださり、子どもたちが日々成長していく姿を見るのができてとても嬉しかった。
- ・CDやDVDでは伝えきれない邦楽の鑑賞を生演奏で聴ける貴重な機会だった。
- ・専門的な技能をもたれている先生だったので、話だけでなく実演を魅せていただくことができた。児童は目の前で出来上がる絵を見て、目をキラキラと輝かせていた。

【一般文化芸術部門】

- ・他の教員も合唱指導を見せていただきたいと思いビデオ撮影をお願いしたところ、先生に許可していただき大変ありがたかった。
- ・響きのある声の出し方や表現の工夫を、手本を示しながら教えてくださったので、「先生のように歌いたい」と思う児童が、先生に近づこうと歌う姿が見られた。
- ・プロの方に実際に教えていただく機会はあまりないので、貴重な時間だった。子どもたちも楽しく学ぶことができ、コミュニケーションのよい方法を具体的に教えていただけよかった。
- ・専門的な立場からいろいろなことを指導していただき、とても為になった。
- ・指導の困難さを感じる部活動で、専門の先生から指導していただく機会を継続的にいただくことができ、とても助かった。
- ・教師自身も経験に差があり、自分が教えられないことを経験豊富な方に来て教えていただけ、また予算の心配をしなくていいことはとてもありがたい。
- ・子どもたちの実態に合わせて、分かりやすい言葉や表現でご指導してくださりありがたかった。
- ・詩の専門の先生から作品についての賞賛やアドバイスをいただいて、子どもたちはとても喜んでいました。
- ・出前講座の先生のご指導は、子どもたちだけでなく教員にとっても大変勉強になり、これからの指導に役立てたいと思った。
- ・音楽祭に向けての長い練習期間の中で、外部講師に来ていただける機会があると刺激があり、新たなモチベーションを保つことができた。
- ・校内の教員では指導できないテクニックも披露してもらい、子どもたちも喜んでいました。昨年に引き続き同じ講師の先生にお願いできたので、子どもたちも親しみやすく、講座が内容の濃いものになった。

■ 学校出前講座アンケート（講師） ■



—講師感想より—

【伝統文化部門】

- ・伝統芸能を後世に引き継ぐためには、子どもたちに伝えることが大切で、今の子どもたちの様子がよく分かってよい。他の場面で指導するの役に立っている。10年後の種まきのつもりで音楽の楽しさ、伝統芸能の素晴らしさをもっと伝えていきたい。
- ・子どもに教えて少しでも日本のよい所を知ってもらい、これからの彼らの何かの足しになってくれれば、それでよいと感じた。子どもたちはチャンスを与えればきちんと自分たちのものにすることができる。
- ・子どもたちの新鮮な発想に驚かされることが多い。こちらも触発され、エネルギーになっている。
- ・一人でも多くの子どもたちが花に向き合うチャンスがあれば、もっともっと花が好きになってくれるのでは。
- ・質問の中に扇子を使用する意味について聞かれた生徒さんがおられた。今までお茶に関わってきた私たちは、扇子を膝前に置き、ご挨拶することに何の疑問ももっていなかったので、扇子の意味を考えたことがなかった。今後は今まで気付かなかったことに注意を払いながら、指導していきたいと思った。
- ・生け花は初めての生徒さんが大多数で、またしたいとの声があった。自然を愛する心、限りある命、慈しむ気持ちを育てて、子どもたちに日本の伝統文化を受け継いでもらいたいと願っている。
- ・「やってみると簡単に描けたので家でもやってみたい」と言う子どもたちに、指導の成果をみたように思えた。
- ・眠っている楽器(箏)が結構あるので、シェアするようなシステムが出来れば箏屋さんに借りなくてもすむのではないかな。
- ・指導内容が今回の内容でよかったのか、他の講師の方がどのような指導をされているのか、情報交換の場がほしいと思う。

【一般文化芸術部門】

- ・児童の実情に合わせて励まし、賞賛が大切であると感じた。
- ・子どものレベルに応じて、臨機応変に別の方法を提案することが要求されたので、引き出しを多くしておくことが大切だと感じ、勉強になった。
- ・演奏の技術を教えることも大事ですが、楽しくみんなで合奏できることを教えてあげることの方が大切だと思った。
- ・子どもたちを引きつけるために、具体的事象(外国人、民族衣装、遊び掲示物等)の準備が必要。講師が手をかけただけ成果が上がる。
- ・「褒めること」は学習効果に大きく影響することを実感した。
- ・少しの声かけ、指導方法でいくらでも子どもたちは伸びることが分かった。1回目に伝えたことを各自で考え工夫をしてくれていて、2回目の指導への繋がりが見えたことはよかった。少し時間はかかっても、じっくり話を聞いてあげ、一緒に解決することの大切さを体験させていただけだ。
- ・小学生をレッスンさせていただくと反応がダイレクトなので、自らが基本を見直すという状況に置かれざるを得ないところが、大変勉強になる。
- ・長年のレッスンで会得したテクニックを若い子どもたちに伝えることができ、大変嬉しい。
- ・小学生に分かる言葉を選び、分かる早さで話すことが必要。難しくても要求すると反応するので、やりがいを感じた。
- ・この講座を通して、歌う喜び、合唱(みんなと合わせる)の楽しさを、1人でも多くの子どもたちに感じてもらえればと思う。
- ・他の講師の方の指導の様子を見学したい。
- ・高学年だけでなく、低学年の指導を行いたい。「歌うこと」だけでなく「聴くこと」の訓練が必要だと思う。
- ・指導されている先生方はとても熱心だった。このような先生方のための講座の時間があればよいのではと感じた。
- ・小学生の授業は初めてであったが、言葉に対する感性が鋭いので、もっと磨く機会を与えてあげたらよいと思った。

アンケート ～ 授業について教えてください



* 1～7の質問について、当てはまるものに○印をつけてください。

1. 今回の授業を前から楽しみにしていましたか
ア. 楽しみにしていた イ. 楽しみではなかった ウ. どちらでもなかった

2. 今回の授業のために何か準備(予習)をしましたか?
ア. した イ. しなかった



それはどのようなことですか? ()

3. 授業は楽しかったですか? その理由も教えてください。
ア. 楽しかった イ. 楽しくなかった ウ. どちらでもなかった
理由 ()

4. 今回の授業でためになったことはありますか?
ア. あった イ. なかった



それはどのようなことですか? ()

5. 今回の授業で習ったことを、以前にやったことがありますか?
ア. やったことがある イ. やったことがない

6. 今回の授業で習ったことを、またやってみたいと思いますか?
ア. やってみたい イ. やりたくない ウ. わからない

7. あなたは、美術館や劇場、音楽ホール(演奏会)に行ってみたいですか?
ア. 行ってみたい イ. 行きたいと思わない ウ. 行ったことがないのでわからない

8. 今回の授業であなたが感じたことや思い出に残ったことがあれば、なんでも自由に書いてください。

がっこう
学校

ねん
年

おとこ おんな
男・女

平成26年度 文化人材バンク
～あっ晴れ！おかやま子どもみらい塾～ 学校出前講座 アンケート

アンケートへのご理解とご協力をお願いいたします。なお、ご回答頂いた内容は、今後の活動を向上させるための参考にさせていただきます。

回答日：平成 年 月 日

* 1～7、9、10の項目について、いずれかに○印をつけて下さい。

1. この講座を依頼されたきっかけをお聞かせ下さい。

- ア. ホームページ イ. パンフレットを見て ウ. 昨年も利用した
エ. 以前の学校で利用していた オ. 利用したことのある先生から聞いた
カ. 講師からの紹介
キ. その他 ()

2. 講師との打ち合わせは

- ア. 十分できた
イ. 十分でなかった (理由:)

3. 講座開催にあたって子どもたちに事前学習を

- ア. させていた (内容:)
イ. させていない

4. 講座の内容は

- ア. とても良い イ. 良い ウ. ふつう エ. あまり良くない オ. 良くない
(理由:)

5. 講師の子どもへの対応は

- ア. とても良い イ. 良い ウ. ふつう エ. あまり良くない オ. 良くない
(理由:)

6. 子どもたちは講座の内容に

- ア. 満足している イ. どちらかといえば、満足 ウ. どちらかといえば、不満
エ. 不満
(理由:)

7. 先生ご自身は講座の内容に

ア. 満足している イ. どちらかといえば、満足 ウ. どちらかといえば、不満
エ. 不満

(理由: _____)

8. 今回の取組みにより、子どもたちにとって最も力がついたと思われる項目ひとつに◎印、そのほか力がついた項目に○印をご記入ください。

表現力	コミュニケーション能力	想像力	創造力	感受性	集中力	協調性	共感力	言語力

(上記について、具体的にご記入ください)

9. 今後も「学校出前講座」を利用したいですか？

ア. 今後も利用したい イ. 今後は利用しない ウ. 未定

10. 9. で「ア. 今後も利用したい」とお答えいただいた方にお尋ねします。今後は

ア. 同じ講座を利用したい イ. 別の講座を利用したい ウ. 未定

11. 今回の講座についてのご感想、ご意見、ご要望、ご提案などございましたら、お聞かせください。

(例：教師が出前講座を見学できる機会があればよい。)

*ご協力ありがとうございました。

平成26年度 文化人材バンク
～あっ晴れ！おかやま子どもみらい塾～ 学校出前講座 アンケート

アンケートへのご理解とご協力をお願いいたします。なお、ご回答頂いた内容は、今後の活動を向上させるための参考にさせていただきます。

* 1～8の項目について、いずれかに○印をつけてください。

1. 学校（教師）との打合わせは
ア. 十分できた イ. 十分ではなかった（理由： ）
2. 学校側の準備は
ア. 十分だった イ. 不十分だった（理由： ）
3. 子どもの数は
ア. 多い イ. ちょうど良い ウ. 少ない
4. 講座の所要時間は
ア. 長すぎる イ. ちょうど良い ウ. 足りない
5. 子どもたちの反応は
ア. とても良い イ. 良い ウ. ふつう エ. あまり良くない オ. 良くない
（理由： ）
6. 講師から見て子どもたちの理解度は
ア. 十分理解している イ. 概ね理解している ウ. あまり理解していない
エ. ほとんど理解していない
7. 講座の進行は
ア. 予定通りスムーズに進んだ
イ. 予定通り進まなかった（理由： ）
8. 学校（教師）の協力は
ア. とても良い イ. 良い ウ. ふつう エ. あまり良くない オ. 良くない
（理由： ）
9. 講師ご自身の活動に生かされる“気づき”や“成果”があれば、ご記入ください。

10. 今回の講座についてのご感想、ご意見、ご要望、ご提案などございましたら、お聞かせください。

(例：他の講師の指導の様子を見学したい、他の講師と情報交換したい、等)

*ご協力ありがとうございました